環境

縦覧できます 稲城市森林整備計画（変更案）

意見のある方は、期間中に意見書を提出できます。

▽縦覧期間　3月13日(金)まで

※土・日曜日、祝日を除く

場 問 緑と環境課緑と公園係

お届けします 令和8年度版ごみ・リサイクルカレンダー

ごみの収集日や出し方を記載した、令和8年度版「ごみ・リサイクルカレンダー」を、2月下旬から各世帯・事業所に配布します。

2世帯住宅で1部しか届いていない場合や、3月6日(金)を過ぎても届かない場合は、お問い合わせください。

問 生活環境課ごみ・リサイクル係

食品ロスを削減！ フードドライブ

フードドライブとは、家庭や事業所で余っている食品・食材を持ち寄り、福祉団体や施設等へ寄付するボランティア活動です。食品ロスの削減や食品等の有効利用を目的として、環境団体や福祉団体がフードドライブを実施しています。詳細は市Webをご覧ください。

寄付できる食品

○缶詰(肉、魚、果物等)
○調味料(油、しょうゆ等)
○インスタント・レトルト食品(冷凍・冷蔵食品除く)
○嗜好品(インスタントコーヒー、茶等)
○乾物(米、乾麺、海藻等)
○乳幼児食品(粉ミルク、ベビーフード、離乳食等)

※未開封で賞味期限が1カ月以上あり、包装や外装が破損していないものに限る

▽持込場所　生活環境課、福祉センター等

問 生活環境課ごみ・リサイクル係

子育て教育

物価高対応 子育て応援手当

政府が行う物価高対応子育て応援手当について、お知らせのハガキが届いた世帯には、2月26日(木)に児童手当口座へプッシュ型で振り込みます。

なお、公務員を含む一部の方は申請が必要です。申請方法等の詳細は市Webをご覧ください。

問 子育て支援課手当助成係

3月1日(日)開催 第16回 三沢川清掃

市民の憩いの場である三沢川を、桜が咲く前に皆さんの手できれいにしましょう。当日は各集合場所で受け付け後、清掃を行います。

日 3月1日(日)　※雨天中止
▷集合場所・時間　下表参照
持 清掃用具(ゴム手袋・軍手・長靴等)
※ごみ袋は受付時に配布
▷注意事項
○車での来場はご遠慮ください。
○流水内には絶対に入らないでください。
○中止の場合は受付開始時間30分前までに中止告知看板を設置し、市Web・メール配信サービス・市LINE・いなぎごみ分別アプリでお知らせします。
問 三沢川清掃推進本部事務局(生活環境課ごみ・リサイクル係)

集合場所・時間

地域	坂浜	百村	東長沼	矢野口
集合場所	新ささらぎ橋	百村神化児童公園	市役所いこいの広場	三沢川親水公園
受付	午前8時45分～		午前9時15分～	
清掃	午前9時～		午前9時30分～	

納期限　3月2日(月)

市・都民税(普通徴収)(随時期)
固定資産税・都市計画税(第4期)
国民健康保険税(第8期)
納付忘れにご注意を！
問 収納課

しごたま就職面接会in立川

詳細は「東京しごとセンター多摩」Web(下記参照)をご覧ください。

対 おおむね55歳以上の方
日 3月12日(木)
時 午後0時30分～4時(受付＝正午～午後3時)
場 ホテルエミシア東京立川(立川市曙町2の14の16)
定 100人程度(申込先着順)
▽企業数　20社程度
持 履歴書(面接を希望する企業数分)
申 電話、「東京しごとセンター多摩」Web内申込フォーム
先 問 東京しごとセンター多摩 ☎042・521・6761

募集しています 男女共同参画計画推進協議会 市民委員

「男女平等推進いなぎプラン」の推進を見守り、進捗状況等について意見や提案を取り入れるための市民委員を募集します。

対 市内在住・在勤・在学の20歳以上でパソコンで資料作成ができる方
▽活動期間　令和8年4月から2年間
※平日夜間2時間程度(全10回程度)
定 若干名
申 申込フォーム(下記参照)
限 2月28日(土)
先 問 市民協働課男女平等参画係

弁護士による相続・遺言講座

相続や遺言の基本について、弁護士が分かりやすく説明します。相続発生時に慌てないために、事前に準備しておきましょう。

日 3月4日(水)
時 午後2時～4時(受付＝午後1時30分～)
場 地域振興プラザ4階会議室
定 60人(申込先着順)
講 吉田 直樹氏(弁護士)
申 申込フォーム(下記参照)[2月16日(月)午前9時～]
先 問 市民協働課市民相談係

上谷戸緑地体験学習館 ひな人形展

日 2月28日(土)～3月4日(水)
時 午前10時～午後3時
場 上谷戸緑地体験学習館1階多目的室
※公共交通機関をご利用ください。
問 坂浜自治会・水車の会 ☎331・7112

▲ひな人形展

市長コラム No.168

野村 駿介さんを稲城市ホームタウンアーティストに認定！

今回は、稲城市から世界へ羽ばたこうとしている輝かしい才能をもった青年をご紹介します。

昨年末、バレエダンサー野村 駿介さんがスイスで開催される「ローザンヌ国際バレエコンクール２０２６」へ出場することが決定されたことから、12月4日に「稲城市ホームタウンアーティスト」として認定し、壮行会を開催しました(コンクールは2月1日からですが、本稿を執筆しているのは1月中ですので、結果については後日お知らせしたいと思います)。

野村さんは、稲城市出身で南山小学校・稲城第三中学校に在学していました。4歳から若葉台のバレエスクール「YARITA YU BALLET STUDIO」にてバレエを始め、小学生の頃から頭角を現し、中学生ではアメリカ合衆国ダラスに留学する等、プロを目指して頑張ってきました。

ローザンヌ国際バレエコンクールは、1973年から毎年スイスで開催されている伝統ある国際コンクールです。単なる順位を競う場ではなく、プロを目指す15～18歳の一握りの選ばれたダンサーが出演できる夢の登竜門とのことです。

このたびの出演決定は、これまでのご家族の支えや講師の指導の賜物(たまもの)ですが、何よりも本人のたゆまぬ努力の結果でしょう。華やかな舞台の裏側で、怪我との闘い、表現を追求する自分との葛藤、厳しい選考等多くの壁を乗り越えてこられたことと思います。

稲城市で生まれ育った若者が、世界の舞台で活躍することは、我々市民にとっても誇りであり、まさにシビックプライドにつながるものです。

稲城市ホームタウン○○認定制度は、令和5年12月に創設して以来、これまでにホームタウンアスリートを7人認定して大舞台に送り出してきました。その成果として、パラリンピックで2つの金メダル、デフリンピックで1つの金メダルを獲得することができました。

今回は稲城市にゆかりがあり、文化・芸術の振興に寄与する方に贈る称号として初のホームタウンアーティストの認定となります。認定式・壮行会では、野村さんの出身校の後輩たちから、激励の言葉・花束・寄せ書きの日の丸が贈られ、参加者全員で記念写真を撮りお祝いと応援の気持ちを伝えました。

世界最高峰の舞台に臨む野村さんの姿は、後に続く多くの子どもたちにとっても大きな希望の光となることでしょう。

ローザンヌの舞台は、野村さんにとって新しい物語の始まりに過ぎません。市民の皆さんと共に彼が最高のパフォーマンスを披露できるように、心からのエールを送りたいと思います。

凱旋(がいせん)を待っています。

▲ローザンヌ国際バレエコンクール壮行会の様子

稲城市長
高橋 勝浩